

平成27年度

第1回総合教育会議 会議録

(開会 平成27年4月14日)

(閉会 平成27年4月14日)

岐阜県 可児市

平成27年4月14日午後2時00分開会
会場：市役所5階第2委員会室

出席者

富田成輝君（市長）
星野京子君（教育委員）
小野口裕子君（教育委員）

籠橋義朗君（教育長）
生駒隆昌君（教育委員）
丹羽千明君（教育委員）

説明のために出席した者

高木美和君（事務局長）
梅村高志君（学校教育課長）

渡辺達也君（教育総務課長）

出席事務局職員

梅田浩二君（教育総務課総務係長）

本田雄太君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - ① 総合教育会議の進め方について
 - ② 可児市教育大綱について
 - ③ その他

開会の宣告

- **市長（富田成輝君）** 平成27年度第1回総合教育会議の開催を宣告。

あいさつ

- **市長（富田成輝君）** 今回の会議は、実質的にはこれまで市長と教育委員会で開催してきた懇談会と変わらないが、法律で具体的な規定がされたため、それに則って会議を行うことになる。重要な教育施策等については、情報を共有しながら進めていきたい。

議題

- **市長（富田成輝君）** 本日の議題は、総合教育会議の進め方と可児市教育大綱についての2点である。1つ目の議題、総合教育会議の進め方について事務局に説明を求めた。
- **教育総務課長（渡辺達也君）** 別紙「総合教育会議の運用に関する合意事項（案）」に基づき説明した。
- **市長（富田成輝君）** 総合教育会議の運用に関する合意事項（案）について、質疑を求めたが発言がなかったので原案の承認を求め、全員原案に異議がないことを認め、本日付けで市長及び教育委員会の合意事項とする旨を述べた。
- **市長（富田成輝君）** 2つ目の議題、可児市教育大綱について事務局に説明を求めた。
- **事務局長（高木美和君）** 教育大綱については、総合教育会議において市長と教育委員会が協議しながら策定していくことになる。市長が市の教育施策の方向性を定めるものである旨を述べた。
- **市長（富田成輝君）** 市長個人としての考えはあるが、市民の考えをベースとしたため、各種団体からの意見聴取を考えている。事務局に、大綱の策定期間の目処について質問した。
- **事務局長（高木美和君）** 教育基本計画（後期計画）の策定も並行して行っていくため、9月頃までには策定したい旨を述べた。
- **市長（富田成輝君）** 各種団体からの意見聴取は、5月中には概ね終わると思われるため、6月頃には原案を示せるのではないかと考えている。あまり長ったらしいものではなく、可児市の教育の方向性をわかりやすく表現できればと考えている。私が常々申し上げている“住みごごち一番”可児、言い換えれば「みんなで支えあう、暮らしやすいまち」を実現できるようなものになればと考えている。ただし、現段階は色々な方から意見を聴いているところであり、全く白紙の状態である。本日は、教育委員会の皆さんからご意見をいただきたいと考えている。

- **教育委員（星野京子君）** 教育委員で学校訪問をしているが、その地域の伝統や自然などを生かした体験学習を各学校で行っている。今後もこういった「可児市らしさ」のある体験学習を続けていただきたい。また、あったかい言葉をかけあえる、通いやすい学校になってほしい。

- **教育委員（生駒隆昌君）** 可児市は、いじめ防止など、子どもの身近な部分を大事にしてくれている。地域、家庭、学校については、これまでの「エデュース9」、そしてその取り組みをさらに広げた「マイナス10カ月」でも、寄り添ってくれているというイメージであり、その取り組みは大事にしてほしい。大綱にも盛り込んでいけるとよいと思う。

- **教育委員（小野口裕子君）** 地域、家庭、学校が三位一体となって、みんなで子どもを育てる土壌を作り、隅々まで行きわたれば可児市の誇りとなる。川崎で起きたような悲しい事件が起きない、起こさないような連携ができれば、住みごこちも良くなると思う。なお、学校訪問をしていても問題のある学校は、校舎が汚いなどの問題があると感じる。可児市の小中学校がどこに行ってもきれいで、花がいっぱいの環境であれば、あたたかい心を育てることができる。そして、五感を通して、肌で感じる体験を提供していけるとよいと思う。また、いのちの大切さや今を大事に生きることを気付かせる「いのちの教育」にも力をいれてほしい。

- **教育委員（丹羽千明君）** 長すぎず、短すぎず、わかりやすく、项目的には3とか、5とか、7とかの程度でよいのではないか。自分の担当地区にある蘇南中校下では、外国籍の児童・生徒が10%以上を占めているが、他地区では、外国籍の児童・生徒がほとんどいない学校もある。地域差はあるが、これからは外国語教育など、国際感覚や多文化共生の感覚を育てていく必要があると思う。また、子どもたちが与えられて「やらされている」という意識ではなく、「自ら学ぶ」という意識付けをしながら教育を行っていけば伸びていくのではないかと思う。

- **教育長（笹橋義朗君）** 「住みごこち」を良くするためには、お金ではなく、それぞれの人間関係をよくしていく必要がある。それが、豊かな心を育み、住みごこちのよさにつながっていく。人間関係という意味では、良好なコミュニケーションを図れることが大事であり、そのために創造的な考え方のできる子どもたちが育ってくれればと思う。また、社会が子どもを育てる意識が根付くとよいと思う。

- **教育委員（小野口裕子君）** 今年度の「可児市学校教育指導の方針と重点」にも、可児市の子ども像として“たくましく生きる子”と謳っている。子どもたちには、自立心を養成し、困難に立ち向かい、自分で行動できる人に育ってほしい。

- **市長（冨田成輝君）** これまでの行政は、分厚く立派な計画書を作ったら終わりというところがあり、各種の施策も世の中の大きな変化についていけないところがあった。

また、経済の発展が根本にある中で、教育施策についても経済施策との天秤の中で見送られてきたものもあると思う。しかし、最近はボランティア活動等を一所懸命される方も増えており、お金や経済以外にも大事なことがあると考えてみえる方も多いと思う。そういった部分を大綱に盛り込んでいけたらよいと考えている。

- **教育委員（小野口裕子君）** 学校毎に地域や家庭とのつながりなど、よい面が色々あるので、そういったものをモデルとして他の学校に広めていけるとよいと思う。どの子ども学校へ行くのが楽しいと思え、不登校ゼロと自慢できるようになれば、それが可児市の誇りでもあり住み心地の良い可児市に繋がっていくと思う。
- **市長（冨田成輝君）** 自分の子ども時代は、学校行くのが楽しかった。多少横着な子などもいたが、不登校などはなかったように思う。
- **教育委員（星野京子君）** 私たちの頃は、先生とのかかわりは少なかったが、子ども同士のかかわりは多かったように思う。
- **市長（冨田成輝君）** 色々と貴重な意見いただき感謝する。今回策定する大綱に積み重ねをしながら、将来的には大綱など不要となるような世の中になることが望ましいと考えている。今後も色々な方の意見を聴きながら、6月中にはある程度の形にまとめたいと考えている。
- **市長（冨田成輝君）** 3つ目の議題、その他について私からは特段ないが、教育委員会からの意見や提案等があるか尋ねた。
- **教育委員（星野京子君）** 総合教育会議の開催頻度はどの程度であるか尋ねた。
- **市長（冨田成輝君）** 随時での開催を考えているが、年2～3回程度は開催することになると思う。事務局としての考えはあるか。
- **事務局長（高木美和君）** 予算の積み上げ時、年度のはじめと終わりなど、年に3回程度は必要と思われる旨を述べた。
- **市長（冨田成輝君）** 総合教育会議といっても、そのためにわざわざ資料を準備する必要はなく、教育委員会会議の開催日にあわせて開催してもよいと考えている。教育委員会からも課題等があれば積極的に提案いただきたい。なお、県議選も終わり、7月には市議選が控えている。また、5月に花フェスタ2015ぎふの開催、駅前拠点施設も基本設計の案が固まってくるなど、大きな動きがある。駅前施設関連については、皆様方にも随時情報を提供していきたい。
- **教育長（籠橋義朗君）** 駅前拠点施設については、学校関係者も検討委員として関

わり、協力していくことになると思う。

- **教育委員（生駒隆昌君）** 小一プロブレムの克服等のため、幼保小の連携も新しい事業として進めているが、小学校入学による環境の変化は大きな課題である。
- **市長（富田成輝君）** 未満児保育やキッズクラブも、需要が増加する一方であり、今後の対応が課題となっている。
- **教育委員（小野口裕子君）** つなげるという意味では、中高の連携も必要だと思う。
- **教育長（笹橋義朗君）** これまでの義務教育と幼稚園・保育園は、断絶ではないが、つながりが薄かった。「マイナス10カ月」の取り組みにより、連携は深まりつつあり、教育改革においても肝になる部分だと考える。
- **教育委員（小野口裕子君）** 本当の意味でつなげるということと、同時にかかわっていくことが大事だと思う。
- **教育委員（丹羽千明君）** 保育園と幼稚園では、育て方が違うと思う。
- **教育委員（星野京子君）** 保育園にせよ幼稚園にせよ、その位の子どもにはたくさん遊ばせてあげたいと思う。
- **教育委員（小野口裕子君）** 幼稚園位の年齢でも、昔は「静かにしなさい」と言われれば、ちゃんと言うことを聞けるようにしつけがしっかりとされていた。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 今は変質者などもいるため、親と一緒にないと遊べないような環境である。
- **教育委員（星野京子君）** 以前保育園の園長先生が、「心を育てたい」と言っていたことが印象的であった。
- **市長（富田成輝君）** 昔は、今のように上手に鼓笛隊などをすることはできなかった。
- **教育委員（生駒隆昌君）** きちんとしないといけないことがずれてきていると思う。人に見せることはきちんとしているが、普段の生活がきちんできていない。
- **教育委員（小野口裕子君）** 家庭生活の中での基本的なしつけが大事である。
- **教育長（笹橋義朗君）** 学校の先生は、学習指導以前に生活の基本から教えなけれ

ばならなくなっている。

- **教育委員（小野口裕子君）** 小学校に上がっておむつが取れない子がいたり、和式トイレを使えない子がいる。学校も便利にしすぎず、どこでも生きていけるたくましい子どもを育ててほしい。
- **市長（富田成輝君）** 公共施設マネジメントを行ってみて、将来お金がかかることは当然であるが、今後は学校も含め、施設を多機能にしていく必要があるのではないかと考えている。空き教室等を学校で使うのではなく、高齢者の生きがいをづくりや子育て支援など、多機能化、複合化の検討も必要だと考える。
- **教育委員（小野口裕子君）** 広陵中が荒れていた時に地域の人が入って花壇づくりを進めた結果、子どもたちに落ち着きが戻り、非常によい効果があった。
- **市長（富田成輝君）** 本日は、たくさんの意見をいただき感謝します。

閉会の宣告

- **市長（富田成輝君）** 平成27年度第1回総合教育会議の閉会を宣告。
閉会 午後3時2分